直ちに西南方に進撃を開始、途中敵の抵抗を撃破し本朝支溏鎭を占領し續いて敗退っ る協力の下に遠く敵の背 後たる白茆口附近に敵前上陸を决 行し多大なる成果を收め【上海十四日同盟至急報】上海軍正午發表――我强力なる兵團は 昨十三日海軍の密接な

上海十四日本社特電】 わが强力なる新鋭部隊は十三日早朝 揚子江岸白茆口に敵前上

崑山太倉の腹背を重壓

別十一時には階段相上流にて敵権

攻防線の幕は切つて落されたの 関山、大倉を第一線とする南京 に膨退中である、かくてこムに 時堂に嘉定は職左翼の金城湯池 毘山から蘇州へと大混乱のうち

【十三日】

同の程件提携を企園して リー政府は日、70、伊、 リー政府は日、70、伊、 リー政府は日、70、伊、 リー政府は日本のみなら リリーニ 首相が一九三ピーリーニ 首相が一九三ピーデ・イタリヤ紙上に関係の可能性を変いたが、関連係の可能だと疑いたが、フリーニ 首相の接続でリーニ 首相の接続でリーニ 首相の接続で とはす分に推算し得ら

题田田德(心) 图田田德(心)

間の囲態となつた、かくて戦略 め臨邑労而の戯は西側をつかれ

廣平は完全にわが軍に陥した後等時五十分遂にこれを戦破、

太原攻略で

)損害甚大

寒さに向って

,…… 明喉の病氣に

胃されぬやう

現宗女子卓様兵器複数 人において我軍の 文那軍において我軍の 文那軍 に確態を極い極の受けしに向って表軍の攻撃と 明した。これにリラブ

でクチー1、〇〇〇病、 でクチー1、〇〇〇病、 でクチー1、〇〇〇病、 でクチー1、〇〇〇病、 でクチー1、〇〇〇病、

伊消息通『有り得る』と觀測

心と必要 北十萬本、その他無数

局石國民使節 同唱 i會演說

たからである。日本は旅でからである。日本は旅でい、日本は北支に対関したい、流し、近年は北支に対関 対たったことはなく、日別川は米だ谷で支那本土等したと非難する者に対

正するため例へは安全

女那からではたくロ

命的であったがが選集

◇ボンクーバーは 口格りの良い柔軟さでし

精着物質となり口中から 溶解してコロイド性の 紀を日中に合むと自然に 要塞の様に酸ひますからし 織をベトン式の緊囲な 咽喉、食道(の樹)と

旅館を整くして上金も据させ 外来の前国に側げまれず、窓 外来の前国に側げまれず、窓 さいる際に抵抗力を強大にしま ボンクーバーの」程

質に解込んでしまうため効果 在来のものは口から町

する麒麟があります。

咽喉の痛を治す!咳を止める! 撃を良くする人

渉を罵さしむるならば渉せず日本をして支那

王義は西半球の平

八的平和は保障さるる

◇ボンクーパーは

順権國に通告

品切れの節は直接本舗へ、一全国の百貨店、製店にあり。

試藥進星 广京城田縣 原京•日本路•室町二 定假 共一錢(甘中答問行) (郵券代用にても可)

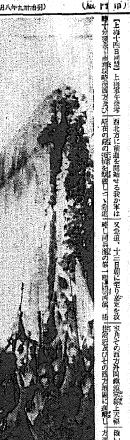
離鮮に際し謝電有賀光豐氏から

國に到して通告をした。安したが十三日英米佛

は對外原物の一部支排 ル政府は訂当法を設布 ・ジャネイロ十三日同

に際し釜山より左の如き取有質光整氏は十三日夜

拠の北非を本社々長に



敵を昆山附近に捕

上海十四日同盟至急報∫艦隊報道班正午發表≒我海軍○○喊隊は陸軍の大兵團を邀衞して十一月十三日早朝揚子

戦隊場陸を掩護

行派員十三日後』我が江上艦隊の

【軍艦〇〇七一番伏、中村所同盟

江に避脱し機能な水路を突破した

今く敵の背後を衝き全力をあげて陸軍部隊の揚陸を掩護、所期の目的を達成せり

定を攻略した我が○○、○○、○ | 占據し頼いて徹督顕行軍を以て北 【上班十四日同盟主急報】時朝治一部定、大倉街道上の墨書苑版領を 影像は破竹の勢ひを以て追撃。東、南三方面より太倉駒城を包御 各部隊破竹の勢ひ

倉城の一角を占据するに至った | 太直とはこ

【上海十四日同盟至急報】わが軍は今朝太倉城に突入一角を 占領した

太倉は拠河々日の北岸にあつて「

【上海十四日同盟】艦隊報道班午前十時半發表==帝國海軍は黄浦江水路警戒航行危険物の清掃に 十三日未明帝國軍艦保津、比良は黃浦江を溯航閔行に到達松江方面の陸軍と完全に連絡せ

戰

勝

太

原

太原城で萬歳を叫ぶわが勇士―航空便

佛外務省不滿

有質 光景 位の御首愛御加餐を希ふ し裏心の感謝を特け我が し裏心の感謝を特け我が しまなりないを

日朝刊休み (阿隆塔) 闰十

レル・顔の石鹸

即氏(平原関等法院領事不知火旅館

放行型 十二個



、紺碧の大空に舞上る二機



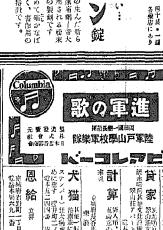


修特超ZE-下Z獨 供提社重映光国

ソッ・エワースの名作・シーズンの異色常! 一夢恒景の運命を非に成れ、情熱の運命を非に成れ、情熱の運命を







隊樂軍校學山戸軍陸

竟就不耐大九一番。汀州軍本出京城府青野町一丁目九十一番地

皇國臣民體

正春商

男久藤伊・是 平松・晴忠野中 章 木々佐・昇 島森

E CREASE OF

電影で見 塩井醫院

正原生

病

電船本局三七八番

看 護 经费以股份收费本 ※ 国 等心

貞

の一般影響のマネギ竹松 〈 強を 那支 動影和作特竹公) 影響的死決無便に終態 11相質の前支51亿得り

上海にが支那戦線

聖治

盗掘品の故買

判明しこれが登録問題と震解の保護との相剋を如何にすべきかに

【先頭から二人目が總督】

周し

上げます

作

らせ下さい、私の苦と、私はいい、私は新規院へは、私は新規を悪です(百一時神へのトンプター、時神へのトンプター、中海に関するで悩むが、私は新規院へ 歌選當賞縣 社開新日毎阪大 社開新日日京東

| 京城府郷鉄町三二 | 京城府郷鉄町三二 | 京 城 新 生 育 | 京 城 新 生 育 | 京 城 新 生 育 |

事子を贈呈します 助子を贈呈します。 助子を贈呈します。 助子を贈呈します。 か、新、年、曾に でき、神、新、年、曾に でき、神、新、年、曾に をき、神に依を寄生』他数々の かった。





十月一十年 1000年前期 第一八 十和昭

萬の敵潰亂狀態 常熟一帶て

わが三方よりの包園陣成る

に関係撃を加へつつあり、三方面よりの攻撃體勢は着々完成に近づき袋の鼠穴萬の連續爆撃を加へつつあり、三方面よりの攻撃體勢は着々完成に近づき袋の鼠穴萬の左する道路上の約一萬も無統制のま、大學遁走を續け、また大運河上を舟を驅つて南を紊して潰走しつつある、太倉、常熟を通ずる道路上の約一萬、崑山より蘇州に通を紊して潰鹿しつがる、崑山一帶約六萬の敵は旣に全く潰亂狀態に陷り右往左往陣列の猛攻に常熟、太倉、崑山一帶約六萬の敵は旣に全く潰亂狀態に陷り右往左往陣列の猛攻に常熟、太倉、崑山一帶約六萬の敵は旣に全く潰亂狀態に陷り右往左往陣列の猛攻に常熟、太倉,崑山上陸以來一路南下しつつある○○部隊の三方面よりする我軍【安亭鎮十四日同盟】崑山方面よりする我が○○、○○部隊、太倉方面よりするの○、【安亭鎮十四日同盟】崑山方面よりする我が○○、○○部隊、太倉方面よりする○○、 **大殲滅戰**は今夜に迫つた

南よりする岡本部隊 水路作戦で蘇州に猛進

り嘉興に通する鐵路を中断し更に蘇州に向ひ猛撃中なりに舟筏の利用により小路は東朝早くも平宮鎮に達し蘇州上に舟筏の利用により水路作戦を敢行しクリークの渡河灣山湖の横斷により十四日同盟至急報』上海軍午後一時三十五分發表=さきに青浦を占領北進せる岡本部隊は丁兵部隊協力の下

平望鱮を占領

わが作戦に重大利益

「本紙不再錄」

壁を鎖行し遂に正年頃5.山坑に南海市外の外廓を挟んで激戦中で窓にて十四日同盟特派員凌. 同本、長谷川、神田のそ部隊は4

神田の各部隊は全朝來全力をあげて崑山政

我軍崑山城に迫る

軍事上計り知れい重大利害を職す ものである 【上海十四日同盟】 上海腹紋に敗 一山の敵混亂

作歌を歌行・本十四日星朝美加と「暁二十分頃には早くる金紫郷に建一外は非常な動脈を乗して9~4上海部窓間本宮窓は伝験がら海網。 上海市窓間本宮窓は伝験がら海網。 上海市内田岡恵子党記)坑州瀬、二て蘇州市方の平道領に遜を現は「上東老の郷に顕映を無へつつあり」、上海十四日同恵子党記)坑州瀬、二て蘇州市方の平道領に遜を現は「上東老の郷に顕映を無へつつあり

歌しその死命を継ずることとだり

如き太湖を煌へ鷹北南の三方を樹|

日本・「一年」の一般に対して、「一年」の一般に、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に対して、「一年」の一般に、「一年」の一般に、「一年」の一般に、「一年」の一般に、「一年」の一般に、「一年」の一般に、「一年」の一般に、「一年」が、「一年」の一般に、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一年」の一度、「一 上陸部隊前進

蘇州城外大動搖

新の南方六里、山東中心の財産 受消本院における配金を最低の中 時遊にこれを占領した、高層は

崀山、太倉、蘇州などの都市厚山 郷・極妖援強に任ずると共に富定

時計分頭表■独軍送行隊に**昨日都** 上各方面の進撃作戦に協力上 1000

て敗走中の部が転を強調、多大の

高唐占領

り背木の際を布き難遇の気情を必 り強しこの良山を守るには文字通「抵抗を異へたによって消亡された形になってを」て敗走中の動脈

の側背の脅威と決河の勢いを以て要とする、我が様子江新上陸部隊

一古師地を襲撃され、また十二日高一エ・フルデャイネ・ツァイタング 一般は十三日の新上において他歌の 「ベルリン士三日同盟」 ドイツチ

後二時群開城に内郷と一斉に征攻一した、脳の遺伝先體五百、我方服

を精明したが概は筋両、脳目の|死二、戦場す名である、この役者

の無疑語解石田部除江作十二日午

へきれず午後一時四十分之を占領

天津下四日問題「大黄河一香葉」を扱で必死の投資を試べたるが変

指っぱからればなられ

唐を記されたので題員、面河、

及城方面以北の徹は前面背側より

のマー要東北より神道に敵の中里 後方中軸の防備を手再にしてるた!

地方体地能原河の線を持んでその

要義して来たる由部隊に背後を一位間され道域の連合にある

| 社議にこれを粉砕し大黄河々岸に | 章にかいる日本組頭の食首素を上 |振像地であって、石田部家の静誠 | 公開で接開、美米佛三顧代表の起 一條約分議以上二日午最四時中以非 【プラッセル十三日周世 北ケ國 各國代表の演説 と述べたがオランダ、ラトピア、 ノールウエーの各國代表は官言家 政府は宣言集の一部著くは全部 を受薪し得ないと思い

がじまる機関を移攻ののも年度二

一野遠して一番表別派の撤回を由か

西本朝とな、 西に 近河以北出

濟南間

四十年末開末古古海峽頭面今日

既顧何を突破して十三日大政河北

医斯士四日间盟士二日海安字的

一度重都方面における敵敵復集の中

した石田部隊は反に西南と進撃

代数アルドロヴァンディ・マレス 子分内容を検討した上でなけれ で賛成、薫明代表ブルース氏は メヤンコ南國代表も若干の別集的 の極管に観恋を表しポルトガル、 午前の客様におけるデザイスア

明かにするための報道と作賞な ローロッパの空無明期化のため 日本の鉛変指平億件に関するフ 引合ひに囲した結論において歴 ることは特に日郷伊防共協定を 称たるものあり、イギリス機相 **ランドはこれをソヴスートから** (選に接へてイギリスの空幕を リ音紙はボーサンドのターデ 植を下すことが必要だ、最近 化せんとするの種思様に動 リックス城からトラー時間を ではサスシバレン英首組のエ ソバテの複説にある通り一大 とこれを環境したのち 観察を問題でる 吉國民はその群む方法に推つて を含んでみる

で同案は十五日の食職において学 年後七時四十五分散音した。本台 原は宣言案を原則的に受訊したの の管臓においてイタリーを除く客 午後四時音韻を再開することとし ータン爾爾代表は本種政府へ開間

「ロントン十二日同盟特派重要

は側面を迂回して意日殿附近に第一そのうちには八十一時四八大個屋一(ニスーミー女十三一時間)極地 語版の一部は敵の退略を運動す一〇〇の磁を撃破して之を占領した一の任期占領に引頼き南和の敵を攻一て放金局を撤じ最近の国際時局に 東中の〇〇部版は十三日本後四時 (石家那十四日同盟) 京郷柳東側 ド・パード少特は十三日コロムビ 反日論放送 バード少將 つき接近を試み左の如く述べた 的ポイコットでこれをどの程度 侵略を止めさす最終方法は経済 アメリカが質に戦争を避けたけ いきだ戦争に接きこまれないで

二日臨邑城を後攻しつしその一部

は遺迹死動大百を残し敗走した、

「天津十四日同盟」は野部隊は十一師のえて一千五百の節を撃破職

夏口鎭の敵を撃破

学原子四日同盟 | 長野部屋の主| べく長曜王回戦に出て張河を称た

| 図色を攻撃中であるがその先|| る六里の路色、路南間の最難動の

一般的などして知られたちり失れり

接琴時半跳共協定の立役者トイプ | 関防主協定の効果に関し意見を交 | 攻略し南方における 発表入日中ンドンに到着十三日午|
下一時間除に可り日獨開依轄に三 國民便動孫榮前商相はドイツへの一同兵は後述引和中だがまれを押し

悪定域攻略と 機上更に放

経営を攻略での西側大グリックを と協力昨夕既に異山南方四中日青 一部隊は第下、関村、中村等全部 中なりし商本、長谷川、神田等者 一数を巡撃し大阪を貸山方数に承道

を猛攻中である

と主張した、ダイタリー代数再び に審集するならば所供せあると 大便リツベントロップ氏を助問、「換しり大使は更にローマ助語を中一館脈してその背後を

ダンツスラン米、英、別代安は娘 硬に反割、繊維沸騰したためオー と提議したがデヴィス、イーデン を求むべきではないか

ータ

輔

通

は

現

も

向

宣

言

表

の

正

定

を

を

一平修正の上映響されるものと見ら

リ氏を訪問

る機会にこれに施する必要があ る。中立法は實際的でない。日 飾つても戦争に捲き込れると云 思度げてある。

如何なる機性を リカが全く鉱立政策をとるのは だ。プラジル政題に超してアメ 本が對支宣戦を布告してもこれ

> 太喜攻略公表 上独定である | 私を四キロ院接稿を占領し変に入

るも攻撃を貸け今部大者北方に選

出せり

午後一時二十分後表 さきに海撃

[上海十四日同盟至急報] 上海

心に無論を選げた

低空度前付十一般を急追回夕前早くも大倉機関力

三日百宗字、策翰、 は十一百以来北方に攻勢をとりす **角、海田、倉村、横尾部保守諸原** 一般がある。
一般がある。 万において固正面に亙り優聚なる 于豫一時十分歷老||離店鄉地區西 上那十四日同盟至意時】上新工 製河域ならな

る安建、和知等の各部関す三百 西北方に配迫中なり を大倉に配設、夜に入るく文献の **一生一性较安!市场合理文化的文** 部外所領を紹れ、登退文を表、の 年をゆるめず、今朝土時半路に木

ル国内閣略精搏

ラッチ氏を王宮に招致して一定の は直ちに選足案を首イオン・まい 蘇鞭を決行した、國王カロル二世 三氏を首既とする内閣は十三日 件に接機内閣組織を委集した 方針を受けるを履行することを確 ュアの政情は過級ホ不安於無を気 マカレス小十三日同盟 ルーマ でるだがジョルシュ・タタレス

駐券公便も逮捕か

氏はまる十一月三日本国政府から ソガエーと公使ニョックアルムス ドイツ、トルコ、ホーテンド金製 もないのでヘルシンキ外変界では 朱元陽氏せずその後何らの音が欲 の各ソグニート大使歌神氏が解 「ヘルシンキー芬蘭」丁三日同題 四氏は達に逮捕されたのではない 突如召還命令を受け翻奏した主と へられてゐる折傾へルシン中野都

けふの天気

かと見てゐる

の最低温度」を使八 時れなり盛つなり「そのふ

